



SCB

ニュース&トピックス

No.2025-46

(2025. 8. 4)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

とね かずゆき
上席主任研究員 刀禰 和之

03-5202-7671

s1000790@FacetoFace.ne.jp

信用金庫の企業向け貸出残高

ポイント

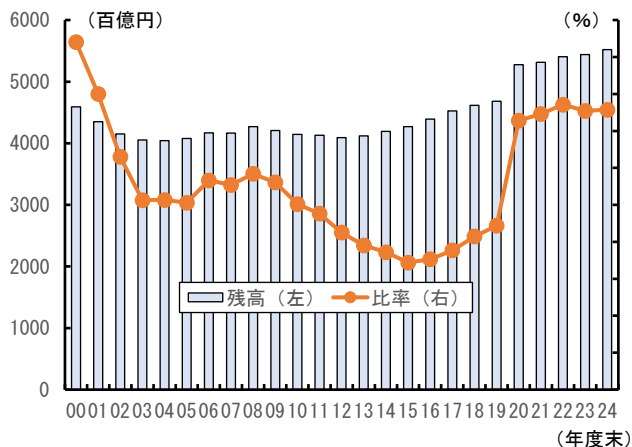
- 2024 年度末の信用金庫の企業向け貸出残高は、前期比 1.4%、7,946 億円増加の 55 兆 2,080 億円となり、12 年連続で前年度末を上回った。
- 2000 年度末の残高と比較すると 20.1%増となり、貸出金残高の伸び（23.4%増）をやや下回って推移している。
- 2024 年度末の地区別の企業向け貸出残高は、東海、北陸などの 9 地区で前期比増加し、九州北部と東北の 2 地区で前年度末を下回った。
- 2024 年度末の信用金庫別の企業向け貸出比率（構成比）は、①60%未満が 38.5%、②60%以上 70%未満が 36.6%、③70%以上は 24.8%となった。

1. 全国状況

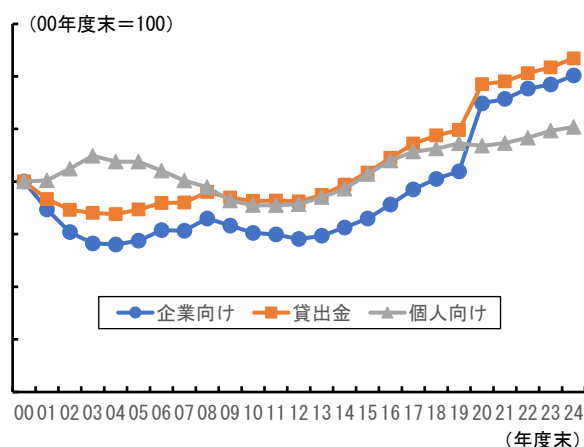
2024 年度末の信用金庫の企業向け貸出残高は、前期比 1.4%、7,946 億円増加の 55 兆 2,080 億円となり、12 年連続で前年度末を上回ると同時に過去最高を更新した（図表 1）。また企業向け貸出の比率は 5 年連続で 67%台を維持している。ただし、2024 年度中の増加額の 4 割強（3,586 億円）が金融、保険業向け貸出となるため、今後の残高伸長には注意を要する。

2000 年度末の残高と比較すると 20.1%増となり、貸出金残高の伸び（23.4%増）をやや下回って推移している（図表 2）。なお 2000 年度末から 2024 年度末までの企業向け貸出先数の増減率は 14.7%減だったので、2000 年度末に 32 百万円だった 1 先当たり残高は 2024 年度末には 44 百万円まで増加している。

（図表 1）企業向け貸出残高の推移



（図表 2）貸出金残高等との推移比較



（備考）図表 1 から 4 まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の状況

2024 年度末の地区別の企業向け貸出残高は、東海、北陸などの 9 地区で前期比増加し、九州北部と東北の 2 地区で前年度末を下回った（図表 3）。1 先当たり残高を比較すると、近畿（51 百万円）、東海（50 百万円）、東京（46 百万円）の順に大きい。また、2000 年度末と比較すると北陸（24.0%減）と南九州（1.8%減）がマイナスとなっている。

（図表 3）地区別の企業向け貸出残高

(単位：百億円、%、百万円)

地 区	00年度末	10年度末	20年度末	23年度末	24年度末	00年度末比		24年度末 比 率	00年度末 1先残高	24年度末 1先残高
						増減額	増減率			
北海道	196	174	230	237	238	46	21.5	66.4	30.9	42.6
東 北	165	129	161	167	166	1	0.5	60.4	25.3	39.2
東 京	920	868	1,250	1,272	1,281	342	39.1	81.6	28.9	46.2
関 東	847	756	889	916	928	117	9.5	61.5	31.8	37.9
北 陸	137	104	98	101	104	△ 36	△ 24.0	58.4	30.4	39.7
東 海	871	805	942	983	1,010	172	15.9	59.9	36.0	50.3
近 畿	968	882	1,194	1,246	1,269	296	31.1	71.8	33.7	51.8
中 国	220	189	224	224	227	12	3.2	63.8	32.1	35.9
四 国	64	59	73	77	79	16	22.1	61.8	27.4	38.2
九州北部	78	76	91	93	93	23	18.6	61.4	24.4	28.2
南九州	114	90	110	111	111	0	△ 1.8	64.8	23.2	30.3
全 国	4,593	4,145	5,277	5,441	5,520	995	20.1	67.5	31.3	44.2

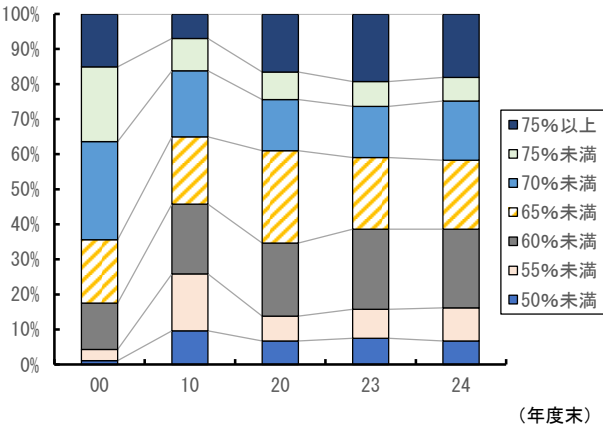
（備考）沖縄県は全国に含む。

3. 信用金庫別の状況

2024 年度末の信用金庫別の企業向け貸出比率（構成比）は、①60%未満が 38.5%（98 金庫）、②60%以上 70%未満が 36.6%（93 金庫）、③70%以上は 24.8%（63 金庫）となった（図表 4）。貸出比率の平均は 67.5%だが、中央値を確認すると 62.4%となった。また比率が 90%を超える信用金庫が近畿に 3 金庫ある一方で、40%未満の信用金庫は南九州と四国に 1 金庫ずつあった。

2000 年度末の構成比と比較すると、50%未満が 1.0%（4 金庫）から 6.6%（17 金庫）に上昇した一方で、75%以上の上昇幅は 15.0%（56 金庫）から 18.1%（46 金庫）に留まる。

（図表 4）信用金庫別の企業向け貸出比率（構成比）



本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。